



⑧男子ソフトテニス部  
⑨女子ソフトテニス部

▲全力で白球を追いかけてました



▲男子は2組のペアが勝利

### 参加した生徒の感想

#### 卓球部 菅野 柁さん(3年)

最後の中体連でとても緊張しましたが、全力で試合ができました。目標にしていた悔いの残らない試合をすることができ、よかったです。とても楽しい中体連で良い思い出になりました。

#### サッカー部 嶋原 拓実さん(3年)

1試合目は緊張もあってあまり体も動かず、よいプレーができませんでしたが、2試合目は、今まで練習してきたことが発揮でき、2年前の中体連で負けた相手に勝つことができました。その時は、とてもうれしかったです。

#### ソフトテニス部 佐藤 奨悟さん(3年)

試合になると、緊張で頭の中が真っ白になってしまいました。結果は団体戦・個人戦とも1勝ずつあげることができ、みんなで勝利をつかむことができてうれしかったです。

#### バレーボール部 佐々木 華純さん(3年)

みんな最後まであきらめず一生懸命プレーしました。1セットもとれなかったことは悔しかったです、みんなで頑張れたのでよかったです。

#### 野球部 大内 駿輔さん(3年)

中体連では残念ながら勝つことはできませんでしたが、試合の中でみんなが上手になっていくのがわかりました。もう少し時間があればと思いましたが、みんなで全力で戦うことができました。

### 子育て相談室

#### 子どもの義務 その3

子どもが果たすべき義務には、「学ぶ」、「自立を目指す」に加えて、「引き継ぎ、伝える」ということがあります。

飯館村には古くからのよき伝統が脈々と引き継がれています。それは、飯館村ならではの「まじりの精神」に基づき、あたたかな心で、健全な生活習慣、勤勉さ、そしてたくましい行動力などであると思います。また、神や仏を敬い祖先に感謝する信仰心、長幼の序の確立、家族や近隣の人々を分け隔てなく大切にできる態度、互譲の精神、うれしさや喜び、悲しいことも分かち合う連帯感などもきつとそうなのだと思います。

さらに、農作業の方法、自然との共存、家事の進め方、勤勉、よくわきまえた経済観念なども、それぞれの家庭でその家庭らしく伝えられているに違いありません。加えて、子育てや教育に対する考え方や姿勢が明確で、しっかりとした指導力が発揮されています。それは、今年の飯館中学校卒業生の見事な進路の結果に表れています。

避難生活の時にあって、改めて、わが家のわが村のよさや伝統を家族で振り返ってみては、いかがでしょうか。そしてそれらを団らんひと時に、わが子に語り聞かせてください。このことが、現在はもちろん、いずれ故郷に帰った時、子どもの健やかな成長に寄与することになると信じます。よく生きるために、引き継ぎ、伝える、これは大人にとっても大切な義務であると思います。

飯館中学校スクールカウンセラー  
臨床心理士 海野 和夫



▲チーム一丸でがんばりました



▲緊張もほぐれてよい動きに

①女子バスケットボール部  
②男子卓球部 ③女子卓球部  
④バレー部



▲一球入魂!!



▲最後まであきらめずにプレーしました

昨年度は、満足な部活動を行うことができなかった飯館中学校の生徒たちですが、今年度はスクールバスが増便したため、部活動を本格的に再開することができました。活動できるのは月曜・水曜・金曜の週3回ですが、現在お世話になっている川俣高校と「川俣町おじまふるさと交流館」の施設を借りて、生徒たちは元気いっぱい練習しています。

6月13日・14日の2日間、中学校総合体育大会相双支部予選会が開かれました。この日のために、避難中の困難な状況にも関わらず、限られた時間の中、練習してきた生徒たち。昨年参加できなかった卒業生の分まで精いっぱいがんばりました。

今回は南相馬市などで、野球部、サッカー部、男女ソフトテニス部、バレー部、女子バスケット部、男女卓球部が試合に挑みました。また、吹奏楽部は野球部を力強く応援しました。

様々なハンデがありながらも中体連に参加した生徒たちは、最後まであきらめることなく全力を尽くしていました。



▲野球部を応援しました



⑤野球部 ⑥サッカー部  
⑦吹奏楽部

▲これから試合開始!!



◀前半2本のシュートを決め、これから後半戦!

たっぷりほめる  
しっかりしかる

教育のページ

飯館中学校が中体連  
相双支部予選会に出場!